

平成25年度 第2回 福井県長寿医療運営懇話会 概要

日 時 平成26年1月30日(木) 午後1時30分～3時45分
場 所 福井県自治会館 2階 202・203研修室
出席者 村上委員、五十嵐委員、重久委員、池上委員、廣瀬委員、印牧委員、森中委員、
奥西委員、小川委員、宮地委員、吉村委員
事務局 上木事務局長、野村事務局次長、高倉業務課長 他5名

- 1 委員の委嘱
- 2 事務局長挨拶
- 3 会長の選出……………村上委員を選出
- 4 副会長の指名……………五十嵐委員を指名
- 3 協議・報告事項
 - (1) 制度を取り巻く状況について
 - ◇後期高齢者医療制度の概要及び運営状況について
 - ◇平成26年度の改正点について
 - (2) 平成26・27年度保険料率の試算について
 - (3) 医療費適正化について

協議・報告事項に対する意見・質問・回答

【委員】北陸3県の1人当たり医療費は、多い順に石川県・福井県・富山県となっている。このような順になった理由は何が考えられるのか。

【委員】市町別の1人当たり医療費についても、地域的な傾向があるのか。

〔事務局〕今のところ、医療費についての分析ができていないが、今後、傾向がつかめるよう研究したい。

【委員】「重複・頻回受診者、重複投薬者等への保健師、薬剤師等による訪問指導」には、どのように取り組むのか。

〔事務局〕まず、重複・頻回受診者を抽出することになるのだが、技術的に現在の広域連合の電算システムで抽出することは難しい。また、市町の保健部局との連携が必要となる。よって、訪問指導については、データ処理や体制づくりから取り組み始めることとなる。

【委員】訪問指導は、国保データベース(KDB)システムを活用しながら進めていくのか。

〔事務局〕はい。受診状況の分析は、KDBシステムの本稼動により可能となるため、これを訪問指導に活かしていく。

【委員】平成26・27年度においても保険料率は据え置かれるのか。また、平成28年度には保険料率は上がりそうか。

〔事務局〕平成26・27年度の保険料率は、療養給付費等準備基金（剰余金）を活用した据置きを検討している。平成28年度については、医療費がこのまま伸びていけば、上がることになるだろう。

【委員】医療費が伸びないよう、いかに抑えるかが、これから肝要となる。県内でも1人当たりの医療費が低い市町を参考に事業を進めてほしい。また、剰余金が少なくなった場合は、どうするのか。

〔事務局〕市町の保健事業等を参考にし、医療費の抑制を講じたい。また、剰余金が少なくなった場合は、県の財政安定化基金を活用する。もう少し医療費が伸びても、対応は可能である。

【委員】柔整の療養費申請書を点検するのは、なぜか。

〔事務局〕全国で柔整による不正請求が明らかになった。その対策として、広域連合として申請書点検に取り組むこととなった。

【委員】後期高齢者支援金等の負担のため、協会けんぽは保険料率を上げざるを得ず、保険者としての運営が厳しい状況にある。

【委員】シルバー人材センター等における高齢者の就労により、医療費が抑制されている面もある。